

主な実績及び新たな取組

基本目標：１ 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

(1) しごとと環境の創出

①新たな雇用やしごと形態の創出

在宅就労事業	概要・実績
	在宅就労を支援するため、サポート体制の整備やスキルアップ講座を開催するなど、クラウドソーシングなどによる在宅就労の効果的な運用を図る。
	今後の新たな取組
	小規模ビジネス育成事業 子育てや介護など様々な事情により就職することが困難な主婦層などの市民に対して、全国の企業からインターネットを活用して仕事を受注し、空き時間を活用して仕事に取組む在宅就労を支援することにより、地域経済の活性化に繋げる。 なお、本事業は地方創生推進交付金を活用した「既存ストックの活用による地方暮らしの推進」事業の一部として実施する。
就労者居住奨励事業	概要・実績
	定住を目的として市内に転入した子育て就労者及び当該就労者を正規従業員として雇用する事業所等に奨励金を交付。 ●実績（進捗状況） 子育て就労者市内居住奨励補助金 H27 年度 19 件 2,600,000 円を交付。 【転入者 64 名（うち、中学生以下 29 名）】 H28 年度（8 月末現在） 6 件 550,000 円を交付。 【転入者 21 名（うち、中学生以下 8 名）】
桐生武井西工業団地整備事業	概要・実績
	群馬県企業局との共同で桐生武井西工業団地を整備するほか、幹線道路及び周辺道路を整備。 ●実績（進捗状況） 群馬県企業局と協定書の締結及び用地買収を実施。 今年度は群馬県企業局で造成工事、桐生市において幹線道路及び周辺道路の整備工事を発注。

②創業促進・支援

空き店舗活用型 新店舗 開設・創業促進事業	概要・実績
	空き店舗を改修し新店舗を開設しようとする事業者などに対する支援対象地域の拡大を図るほか、中心市街地における補助を店舗のみならず事業所も対象。 ●実績（進捗状況） H27 年度 中心市街地 5 件 H28 年度（9 月末現在） 中心市街地内 4 件、 中心市街地外 4 件が決定済
創業促進・支援事業	概要・実績
	東武本町ビルを拠点として「インキュベーションオフィス」や「コワーキングスペース」の設置により、新規創業を促進・支援。 ●実績（進捗状況） H27 年度 桐生市創業支援機関のサポートによる新規創業者 12 人 H28 年度 桐生市創業支援機関のサポートによる新規創業者 12 人
	今後の新たな取組
	地方創生推進交付金を活用した「既存ストックの活用による地方暮らしの推進」事業の一部として、「インキュベーションオフィス事業」や「コワーキングスペース運営事業」を実施する。

（2）地場産業等の活性化

①地場産業等の活性化

海外販路開拓支援事業	概要・実績
	国内外における国際見本市への市ブース設置や現地政府との連携強化による市内企業の海外販路開拓支援を通じ、成長著しい東アジア経済圏の活力を取り込む。 ●実績（進捗状況） H28 年 10 月 17 日から 19 日「台北テキスタイルフェア」出展。 同 20 日 雲林県において「実務連携会議」を開催。

(3) 農林業の振興と成長産業化に向けた取組

①農産物等の有効活用と担い手の確保

農業後継者育成事業	概要・実績
	新たに就農する農業後継者に奨励金を交付することにより、農業経営の安定化に寄与するとともに、農家の担い手となる若者の市内定住を促進し、本市農業の振興を図る。
	今後の新たな取組
	農業後継者育成事業 国では、経営リスクを負っている45歳以下の新規就農者に対して、青年就農給付金の交付を行っているが、親元に就農した者に対しては交付の対象外とされているため、農家の担い手となる45歳未満の農業後継者に対し奨励金を交付することにより、農業後継者が希望を持って就農できる環境づくりを行う。
地域特産品等開発販売促進事業	概要・実績
	黒保根産の旬の野菜や果物などを広く知ってもらうためのPRを行うとともに、地元産物を使った特産品（加工品など）の開発を行う。 ●実績（進捗状況） 黒保根町の特産物の販売促進や地域食材を使用したの新メニュー・商品開発を行うために地域おこし協力隊員を7月に採用し、現在活動中。
6次産業化推進事業	概要・実績
	農畜産物における6次産業化推進するため、経営の発展・多角化を図る取組に係る経費を補助する。
	今後の新たな取組
	農作物残渣適正処理事業補助金 硬い作物の枯れ茎や病害虫に侵された残渣は農地へのすき込みができないため、処理代を払って清掃センターで処理している。そこで、農作物の残渣処理に対して負担軽減と適正処理を進めるため、農作物残渣適正処理事業補助金を新設し補助する。

②森林資源の活用による林業の活性化と水源の活用

森林・林業再生のための 基盤整備	概要・実績
	桐生の恵まれた森林資源を生かした生産・流通量の拡大や、ローコスト化による収益率の上昇を図るため、市場併設型木材ストックヤードの整備に対する支援や、木材生産及び生産流通用林業機械などの導入に対する支援を行う。また、既存林道・作業道の機能維持、拡大による林業の近代化を推進することにより、新規就業環境などの改善にもつなげ、新卒者など林業未経験者の就業を容易にする環境整備を図る。 ●実績（進捗状況） 市場併設型ストックヤードの整備事業説明を行い、地元（林家・事業団体・森林組合）の意思決定がなされ、具体的な事業内容の大枠が決定。また、森林環境の整備や木材生産活動の活性化を図るため、林業作業道を整備するとともに、高性能林業機械の導入に対し補助を実施。
	今後の新たな取組
	市場併設型木材ストックヤード整備事業 梅田町において民間団体が実施する市場併設型木材ストックヤードの整備に対し、補助金を交付する。 林道整備事業 ストックヤード候補地にアクセスするための道路を整備する。 森林資源活用事業 ストックヤード整備事業の効果を更に高めるために、森林バイオマス原料やナノセルロース原料として需要が増加傾向にある低質材や林地残材をストックヤードに搬入した山林所有者に対して搬出支援金を交付する。

基本目標：2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域活性化を目指す

(1) 移住・定住の促進

①移住・定住情報の提供及び空き家等の活用

定住促進（空き家対策推進）事業	概要・実績
	首都圏での移住相談会を開催するとともに、お試し暮らしや空き家・空き地バンクにより桐生暮らしを広くPRするなど、いくつかの事業と絡めて移住・定住を推進。
	●実績（進捗状況） 東京での相談会を開催し、桐生に興味を持ってくれた方への情報発信やアンケートを実施したほか、実際に移住した方との交流会を実施。
	今後の新たな取組
	地方創生推進交付金を活用した「既存ストックの活用による地方暮らしの推進」事業の一部として、「地方暮らし情報PR」や「地方暮らし体験事業」を実施する。

②移住・定住者への支援

空き家利活用補助	概要・実績
	居住などのために空き家をリフォームする場合、または空き家を除却する場合の費用の一部を補助する。
	●実績（進捗状況） 制度の創設に向け、市内に存する空き家等の実態調査を実施中。また、総合的な空き家対策を推進するため、空き家の適正管理及び利活用の促進に関する条例の制定に向けたパブリックコメントを実施中。
	今後の新たな取組
	きりゅう暮らし応援事業 市内の空き家を利活用し住み続けてもらうことを目的に、空き家改修費用の一部を補助する。 また、長年管理されていない空き家の除却を促進し、空き家跡地の再利用と地域の活性化を目的に空き家の除却費用の一部を補助する。

黒保根定住促進住宅の整備	概要・実績
	市外からの転入者などをターゲットとした賃貸用の定住促進住宅を黒保根町水沼地区に建設し、英語教育など黒保根町ならではの独自事業と連携した総合的な定住促進を図る。
	今後の新たな取組
	黒保根町水沼定住促進住宅建設事業 黒保根地区の住宅環境を整備するとともに、過疎化や人口減少を抑制し、地域機能の維持を果たすことを目的に、市外からの転入者などの受け皿として、水沼市営住宅の建て替えを実施する。
住宅取得応援事業	概要・実績
	定住を目的として、市内に住宅を建築または購入する個人に対し、住宅取得費用の一部を補助。 ●実績（進捗状況） H26 年度 申請件数 170 件(市内から 129 件、市外から 41 件) (H26. 7～) 定住人数 522 人(市内から 405 人、市外から 117 人) 補助金交付額 142, 006, 000 円 H27 年度 申請件数 346 件(市内から 259 件、市外から 87 件) 定住人数 1, 162 人(市内から 891 人、市外から 271 人) 補助金交付額 303, 497, 000 円 H28 年度 申請件数 207 件(市内から 157 件、市外から 50 件) (10 月末現在) 定住人数 684 人(市内から 525 人、市外から 159 人) 補助金交付額 180, 484, 000 円（支出予定を含む） 計（10 月末現在） 申請件数 723 件(市内から 545 件、市外から 178 件) 定住人数 2, 368 人 （市内から 1, 821 人、市外から 547 人） 補助金交付額 625, 987, 000 円(支出予定を含む)
	今後の新たな取組
	きりゅう暮らし応援事業補助金 着実に効果を上げている本事業を継続実施する。転入者や子育て世代の利用増加を図るため事業内容を見直すことにより、さらなる効果促進を図る。

(2) 地域の資源を活用した観光振興

①地域の資源の有効活用

動物園観光促進ウェルカム事業	概要・実績
	特色ある動物展示や体験型のイベントなどを一体となって実施。 また、MAYUを重伝建地区など中心市街地へ定期運行。 ●実績（進捗状況） H27 年度 動物園の入園者数は 428,539 人 MAYU利用者数は 7,069 人 H28 年度 動物園の入園者数は 302,410 人（11 月末現在） MAYU利用者数は 3,987 人（11 月末現在）
重要伝統的建造物群保存地区公開施設整備	概要・実績
	伝統的建造物を活用し、公開展示する施設を整備する。
	今後の新たな取組 本町通りに面する明治後期の建物を市で購入し、資料展示等による見学施設として整備することにより、地域住民や来訪者の交流拠点としても活用していく。

②観光拠点と整備と効果的な情報発信

インバウンド対策の強化	概要・実績
	日本語版や外国語版観光PR映像を駅や観光施設などで放映。 ●実績（進捗状況） DVD（多言語）を作製し、観光案内所や市役所内など多くの人が来場する施設で放映する。
	今後の新たな取組 ヘリテージツーリズムによる桐生＆足利の広域周遊観光促進事業【地方創生推進交付金事業】 足利市と連携し、日本遺産を核とした広域周遊観光の促進を図り、観光振興による地域経済の活性化を図る。 詳細は、資料1のとおり
日本版DMO	概要・実績
	日本版DMOの研究を視野に入れながら、民間活力を導入した旅行商品の企画・立案や、誘客宣伝事業に力を傾注することで、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。
	今後の新たな取組 赤城山観光振興のためのDMO振興事業【地方創生推進交付金事業】 前橋市と連携し、赤城山の豊かな自然環境を活用し、多くの観光資源の魅力を発信することにより、観光客及び交流人口の増加につなげる。 詳細は、資料1のとおり

(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての支援

①結婚・妊娠・出産のための支援

婚活に対する支援	概要・実績
	桐婦連の活動として、群馬県の「ぐんま縁結びネットワーク」を活用し、月1回の世話人情報交換会の実施及び登録者の出会いの場を提供。 ●実績（進捗状況） この交流会をきっかけに、過去7組のカップルが成婚。 今年度は、年2回（7月16日、12月10日）婚活交流会を実施。
不妊治療費助成事業	概要・実績
	夫婦年間10万円を上限に助成（通算5回まで、県助成事業との組合せ可）。 ●実績（進捗状況） 平成27年度 交付数87件、助成額6,513,000円 平成28年度(10月末現在) 交付数10件、助成額905,000円

②子育て世代の負担軽減

新たな奨学金制度の整備	概要・実績
	群馬大学理工学部生の桐生市への定着や、大学などの卒業生のUターン・市内居住を目的とした優遇措置を付加した奨学金制度を整備する。
	今後の新たな取組 奨学資金返還助成金交付事業 奨学金の貸与を受けた者が本市に定住した場合、貸与した奨学金の返還に対して助成金を交付することなどにより、若い世代の本市への帰郷を促進し、定住人口の増加やまちの活性化に繋げる。

(2) 安心して子育てができる環境整備

①安心して子育てができる環境整備

子育て世代包括支援センターの整備	概要・実績
	妊娠期から子育て期（１８歳まで）の様々なニーズに対して、総合的に相談や支援を提供するワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを整備する。 ●実績（進捗状況） 平成 28 年 10 月に子育て世代包括支援センターを開所。
	今後の新たな取組
	屋内遊戯施設開設事業 いつでも気軽に相談できる子育ての総合拠点としての機能をさらに充実させるため、保健福祉会館に屋内遊技施設を整備する。 母乳外来助成事業 産後は、母乳・授乳関係の不安が多く、母親の精神的トラブルの引き金となっており、母乳外来は保険診療外であるため費用がかさむことから、母乳外来に対する支援を行うことで、経済的負担の軽減を図り健やかな育児ができるよう支援する。 不育症治療費助成事業 不育症のために子供を持つことができない夫婦に対して、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図ることで、少子化に歯止めをかける。
産前産後サポート・産後ケア事業	概要・実績
	妊産婦などが抱える妊娠・出産・子育てに関する悩みについて、助産師などによる相談を行うほか、産後に心身の不調又は育児不安を持つ母親を対象として、医療機関などにおいて、心身のケアや育児のサポートなど行う。 ●実績（進捗状況） 出産後の母親の精神・身体的不安定の軽減のため、退院直後から産後 3 か月未満の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、安心して子育てができる環境を確保できるよう 10 月から「たかのす診療所」において、産後ケア事業を開始した。
	今後の新たな取組
	母子支援プログラムの導入を新たに実施するとともに、既存の教育相談を整理し充実を図る。

病児保育事業	概要・実績
	病気や病気回復期の乳幼児や児童で、保護者に就労などの理由があり、家庭で保育できない場合に、病院や保育所などに付設された専用スペースなどにおいて、看護師などが一時的に保育する。 ●実績（進捗状況） 平成 28 年 7 月に「病児保育室はなぞの」をおりひめ医院内に開所。

（３）特色ある教育の充実

①特色ある教育の充実

未来創生塾	概要・実績
	大学と産業界、各種団体と行政が協調し、桐生の文化、自然、産業を活用した環境、社会、理科などの総合教育を実施。 ●実績（進捗状況） H27 年度 基礎編 全 14 回実施（市内各小学校） 応用編 1 年生 43 人・20 回、2 年生 25 人・20 回 院 1 年生 17 人・20 回、院 2 年生 20 人・21 回 H28 年度 応用編 1 年生 46 人・17 回、2 年生 41 人・13 回 （12 月 5 日現在） 院 1 年生 25 人・16 回、院 2 年生 16 人・14 回 独立専攻科 23 人（重複あり）
サイエンスドクター事業	概要・実績
	群馬大学理工学府の大学院生を全市立中学校に派遣し、観察・実験方法やよりよい授業の創造に向けた企画・立案等の実施。 ●実績（進捗状況） H27 年度 各校より理科での活用が 6 校、自由研究での活用が 6 校 科学クラブでの活用が 3 校 科学の甲子園ジュニア参加への支援 ・ H27 年度は、清流中学校の生徒が予選突破し、県代表として全国大会へ出場。 ・ H28 年度は中央中学校の生徒をはじめ、4 校の生徒が県予選に出場。（出場校：中央中学校、清流中学校、川内中学校、桜木中学校） H28 年 8 月 9 日（火） 群馬県 1 次予選 中央中学校が予選通過 H28 年 9 月 10 日（土）群馬県 2 次予選 奨励賞を受賞

海外研修事業	概要・実績
	キャリア教育を目的として、市立商業高校の生徒を台湾に派遣し、異文化を体験してもらうとともに、企業訪問や現地大学生との交流を行う。 ●実績（進捗状況） 研修先 台湾 研修期間 平成 28 年 8 月 22 日から 25 日（3 泊 4 日） 参加者 生徒 17 人、引率者（教諭）3 人
	今後の新たな取組
	中学校海外派遣 市立中学校生徒をコロンバス市に派遣し、一般家庭でのホームステイや現地中学校への体験入学等の活動を通じて語学を学ぶとともに、海外の文化に触れることにより国際感覚を育む。

(1) 安全・安心で住みやすい環境づくり

①地域防災体制の整備

	概要・実績
自主防災事業	防災アドバイザーに助言を仰ぎながら、土砂災害警戒区域等の対象自治会（48 自治会）に対してハザードマップを作成・配布するとともに、自主避難計画（リーフレット）の作成や自主避難訓練などの自主防災組織の活動を支援し、住民自らが地域防災の担い手となる環境を整備。 ●実績（進捗状況） H27 年度は、土砂災害ハザードマップを土砂災害警戒区域等の対象自治会（48 自治会）に対し配布済み。黒保根町上田沢地区ほか 12 自治会において自主避難計画（リーフレット）を作成・毎戸配布済み。 H28 年は、梅田町 5 丁目地区ほか 11 自治会において自主避難計画（リーフレット）作成・毎戸配布予定。 （12 月 2 日現在、本年度に予定する 12 自治会のうち 4 自治会については、作成・配布済み。）

②保健・医療・介護体制やサービスの充実

	概要・実績
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・連携支援センターを設置し、医療と介護の両方を必要とする高齢者が住みなれた地域で安心して生活し続けることができるように、医療と介護を一体的に提供する体制の構築を推進。 ●実績（進捗状況） H28 年 4 月より桐生医師会へ委託 職員は、社会福祉士兼主任ケアマネージャー等 1 人 看護師兼主任ケアマネージャー等 1 人 事務職（兼任）1 人 個別具体的事案調整、病院や介護保険事業者の連携会議等を開催予定 H28. 7. 5 第 1 回医療ソーシャルワーカー等情報交換 H28. 7. 19 第 1 回ケアマネージャー等情報交換会

認知症対策の推進	概要・実績
	認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができる地域の構築を推進。 ●実績（進捗状況） H28 年 4 月より 桐生医師会へ委託 職員は、社会福祉士兼主任ケアマネージャー等 1 人 看護師兼主任ケアマネージャー等 1 人 事務職（兼任）1 人 （職員、施設については、在宅医療・介護連携推進事業と兼務） 国が定める「認知症初期集中支援チーム員研修」（H28 年 7 月 9 日・10 日）を受講し、個別具体的支援を開始。
健康寿命の延伸	概要・実績
	健康増進法健康診査、国保特定健康診査、後期高齢者健康診査や歯周疾患検診の充実により、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療などにつなげ、市民の健康増進を図る。また、がんの早期発見・早期治療を行うための検診体制の充実を図る。
	今後の新たな取組 総合検診事業 市民が同じ日に一か所で各種がん検診及び新わたらせ健診を受けることができるようにし、受診率を向上させ市民の健康増進を図る。 インセンティブ事業 市民が各種がん検診、新わたらせ健診等を受けてポイントを集めることで、桐生商工会議所に協賛する商店から特典を受けられる仕組みをつくり、健康に関する意識の向上を図るとともに、がん検診受診率の向上を図る。
高度医療の確保	概要・実績
	桐生厚生総合病院において、市民などに対して充実した医療を提供するため、医師の確保や高度医療を確保していくための各種機器の導入をはじめとした医療機器整備や建設改良工事により、病院機能の維持や充実、経営の安定化を図る。
	今後の新たな取組 高精度放射線治療装置の導入 桐生厚生総合病院に、がん細胞に高い精度で放射線を集中させる治療装置として高精度放射線治療装置を導入し、平成 29 年 5 月から稼働予定。

(2) 将来を見据えた計画的なまちづくり

①環境先進都市実現に向けた取組

環境先進都市将来構想の推進	概要・実績
	産学官民が一体となって、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入やエネルギーの効率的な利用を図り、それらを組み合わせた自立分散型エネルギーシステムなどを構築。 ●実績（進捗状況） H28 年度 桐生市環境先進都市将来構想推進協議会を開催 ・平成 28 年第 1 回（6 月 3 日（金）） ・平成 28 年第 2 回（10 月 12 日（水）） 電気自動車の充電設備の整備 ・E V 急速充電器を道の駅くろほねやまびこに設置し、12 月中旬から稼動予定 学校施設の貸出による太陽光発電事業 ・太陽光発電事業を実施する民間事業者に、市立学校施設の屋上や屋根を貸出し、再生可能エネルギーの普及促進を図る。
	今後の新たな取組
中心市街地再生事業	（仮称）桐生市環境先進都市推進補助金 現行の「新エネルギー設備等設置費補助金」及び「電動アシスト自転車購入補助金」の補助制度を見直し、補助対象設備として、市民向けでは太陽光発電システムや自然冷媒ヒートポンプ給湯器、家庭用蓄電池などの新エネルギー・省エネルギー設備設置のほか、省エネ家電買替え（市内販売店で購入したもの）などを新たに加える。また、中小企業も補助を受けられるようにし、高効率空調やLED照明などの省エネルギー設備設置の補助を行う。
	概要・実績
	地方創生加速化交付金を活用する形で、中心商店街に新たな人の流れや賑わいを促進する戦略プロジェクトを展開中。このプロジェクトを産学官民の関係者が連携しながら推進していく中で、中心市街地再生に向けた適切な方向性等についても協議・検討を進める。 ●実績（進捗状況） 詳細は、資料 1 「I o T 技術を有効活用した「新たなしごと、人の流れ」の創生、及び地方創生重点施策を加速化させる環境整備事業」のとおり

立地適正化計画策定・推進事業	概要・実績
	少子高齢化・人口減少社会においても効率的な生活サービスが提供できるように、福祉、医療、商業などの都市機能の集約を図るとともに、居住機能の誘導によりまちのまとまりを維持することで、各拠点を連携させた多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を図る。 ●実績（進捗状況） 平成 28 年度は、計画策定支援業務委託契約を締結し、基礎的データの収集や都市構造の分析などに着手し、3 か年かけて策定予定。
公共施設等総合管理計画策定・推進事業	概要・実績
	本市が管理している全ての公共施設など（ハコモノ施設、インフラ施設、プラント施設など）について全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設などの最適な配置の実現を図る。 ●実績（進捗状況） 平成 27 年度に計画策定支援業務委託契約を締結。平成 28 年度は、前年度に引き続き計画策定事務を進め、12 月には市民 2,000 人を対象にアンケートを実施するとともに、行政案について協議するため、桐生市公共施設等総合管理計画推進委員会を庁内に設置した。
	今後の新たな取組 平成 28 年度中に公共施設等総合管理計画の策定が完了するため、今後は施設の種別ごとに個別計画を策定し、更新・統廃合・長寿命化などについてより具体的な検討を進め、公共施設の最適配置の推進に取り組んでいく。
スポーツ施設整備事業	概要・実績
	老朽化したスポーツ施設を今の時代にあった施設として整備することで、スポーツの振興により市民の健康増進を図り、さらに市民が集える場所の提供を行う。
	今後の新たな取組 桐生市運動公園再編整備事業 平成 32 年度までの完成を目指し、市民体育館と陸上競技場を整備する。市民体育館については、現在の桐生球場附属サブグラウンドに新設し、陸上競技場については、現在地で全面改修を行う。

(3) 地域間連携に向けた取組

①地域間連携に向けた取組

鉄道を基軸とした地域間連携の推進と沿線の活性化	概要・実績
	沿線自治体で組織する協議会などを通じて、利用促進及び活性化に努めるとともに、東武鉄道本社及びＪＲ東日本高崎支社への要望活動を実施。 ●実績（進捗状況） H28 年度 ・両毛線整備促進期成同盟会（会長：桐生市長） 平成 29 年 1 月 25 日（予定） ＪＲ東日本高崎支社要望活動 ・両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会（会長：足利市長） 平成 28 年 11 月 28 日 観光を専門とする学生団体との連絡による 両毛活性化プロジェクト成果報告 ・上電沿線市連絡協議会（会長：前橋市長） 平成 28 年 11 月 20 日 ぐんまちゃん家×上毛電鉄コラボイベント ・わたらせ渓谷鐵道連絡協議会（会長：みどり市長） 平成 28 年 7 月 26・28 日 夏の観光キャラバン（東武動物公園駅・東武日光駅）
	今後の新たな取組
	ヘリテージツーリズムによる桐生＆足利の広域周遊観光促進事業【地方創生推進交付金事業】 足利市と連携し、日本遺産を核とした広域周遊観光の促進を図り、観光振興による地域経済の活性化を図る。 詳細は、資料 1 のとおり

	概要・実績
地域公共交通体系改善事業	平成 27 年度は、岡の上地区に予約制乗合タクシーの導入、宮本町地区では、MAYU を活用しての交通需要量調査を目的とした実証実験をそれぞれ実施。
	平成 28 年度は、岡の上の予約制乗合タクシーを本格運行に移行、宮本町では予約制乗合タクシーに切り替えての実証実験を開始。
	●実績（進捗状況） 平成 27 年度 予約制乗合タクシー（岡の上）利用者数 949 人（79 人／月） MAYU（宮本町）利用者数 2,549 人（26 人／日） 平成 28 年度 予約制乗合タクシー(岡の上)利用者数 8 月 69 人、9 月 53 人 10 月 59 人 予約制乗合タクシー(宮本町)利用者数 8 月 25 人、9 月 47 人 10 月 34 人
	(参考) 菱町において、バス運行に対する需要量調査を目的としたMAYUを活用しての実証実験を群馬大学が実施。 ●実績（進捗状況） 平成 28 年度 MAYU（菱町）利用者数 8 月 175 人、9 月 120 人、10 月 120 人